

教育委員会「点検・評価」報告書  
(令和元年度事業対象)

柏原市教育委員会

令和2年12月

## I 点検・評価制度の概要

### 1 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)が改正され、地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられた。また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとするものとされた。

本報告書は、地教行法に基づき、令和元年度(2019年度)の柏原市教育委員会の点検・評価を取りまとめたものである。

### 2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会である。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督(レイマン・コントロール)し、中立的な意思決定を行うものとされる。

事務の点検・評価は、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としている。

### 3 対象事業の考え方

今回の点検・評価の対象事業は、前年度である令和元年度分の事業実績と令和元年度の取組み計画・状況について実施した。その対象範囲は、地教行法第26条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務の範囲とするが、本市及び本市教育委員会により策定された柏原市教育振興基本計画に基づいて、教育委員会が行っている基本方針より重点事業を網羅する形で対象事業を選定した。

### 4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った点検・評価(自己評価)の結果について、選任した学識経験者2名から意見を聴いた。

学識経験者の選定にあたっては、本市にゆかりのある方で、広い観点からの知見を期して、高等教育や教員の人材養成に携わっていた識見の高い方の知見の活用を考慮した。

#### 評価員名簿(敬称略)

- 手取 義宏 (大阪教育大学教授)
- 松下 十三男 (元柏原市立中学校教頭)

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

第26条（教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検・評価実施状況

### 1 評価員による点検・評価及び評価員会議開催状況

○令和2年7月27日（月）から令和2年8月7日（金）まで  
各課事務事業の点検・評価シート等による評価員の点検・評価

○令和2年8月25日（火）午後1時～午後5時  
第1回 柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議  
会議内容： 課（館）ごとに個別ヒアリングを実施

○令和2年9月1日（火）から令和2年9月25日（金）まで  
評価シート及び個別ヒアリング等による評価員の点検・評価

○令和2元年10月7日（水） 午後1時～午後4時  
第2回 柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議  
会議内容： 教育委員会「点検・評価」報告に関することについて

### 2 点検・評価実施手法

#### 【事業シートの作成】

柏原市教育振興基本計画に掲げる基本的な目標の実現に対する4つの基本方針を基にした重点事業より、各課（館）で実施事業ごとにシートを作成。

○柏原市教育振興基本計画に掲げる4つの基本方針と重点事業

（基本方針1） 幼小中一貫教育を推進します

（1）中学校区を単位とした家庭、地域、学校の連携強化

- ・教師間連携
- ・子どもの交流、連携
- ・家庭、地域、学校の連携

- (2) 11年間を通した子どもの育成
    - ・幼小中一貫教育推進教員の配置
    - ・学習意欲や学力の向上
    - ・生活指導上の課題の解決
  - (3) 幼小中一貫教育推進事業の展開
    - ・中学校区の特色ある教育の推進
    - ・施設一体型一貫校の設置計画の推進
  - (4) 地域連携型中高一貫校の推進
    - ・柏原地域連携型中高一貫教育推進委員会の開催
    - ・連携入試の課題と方向性の検討
    - ・連携事業の実施
- (基本方針2) 知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます
- (1) 幼児教育の推進
    - ・幼稚園教育の推進
  - (2) 子どもたちの確かな学力の確立
    - ・各学校を支えるプロジェクトチーム
    - ・学習意欲や確かな学力の向上
    - ・府教委や市教委の学力向上方策
  - (3) 豊かな心の育成
    - ・いじめ、不登校への対応
    - ・人権教育の充実
    - ・道徳教育の充実
    - ・キャリア教育の推進
  - (4) 健やかな体づくりの推進
    - ・体力づくりの充実
    - ・学校保健の充実
    - ・学校給食の充実
    - ・部活動の活性化
- (基本方針3) 社会全体で健やかな子どもを育みます
- (1) 家庭の教育力の向上、学習習慣の定着
    - ・教育に関する相談支援の充実
    - ・家庭での学習習慣の定着
  - (2) 地域の特性やボランティア等を活かした教育の充実
    - ・わがまち柏原を学ぶ教育活動の推進
    - ・地元大学と連携した学習機会の充実
    - ・学校支援ボランティアの充実
  - (3) 青少年の健全育成
    - ・青少年健全育成活動の推進
    - ・青少年育成団体支援の推進
    - ・青少年講座の充実
  - (4) スポーツの振興
    - ・生涯スポーツの振興

- ・スポーツ環境の充実

(5) 生涯学習の充実

- ・社会教育施設の整備、充実
- ・社会教育施設を使用した生涯学習の推進
- ・公民館の活用
- ・図書館の活用
- ・文化財の保存、整備、活用
- ・文化財に関する知識普及と啓発の推進

(基本方針4) 安全・安心で、質の高い教育環境をつくります

(1) 教職員の資質の向上

- ・教職員の研修の充実
- ・ミドルリーダーの育成

(2) 安全、安心な教育環境の整備

- ・子どもの安全の確保
- ・安全、安心な施設環境の構築
- ・学校の適正規模、適正配置の推進
- ・安全、安心な給食施設の維持、運営

(3) 教育機会の均等と確保

- ・支援教育及び支援体制の充実
- ・就園、就学への支援
- ・奨学金制度の充実

○シート項目について

1. 重点事業
2. 具体的事業名
3. 主な取組み状況・・・  
令和元年度の取組み状況（事業や取組みの実績・成果）
4. 自己評価（課題・反省点）
5. 現状と課題（昨年度の点検評価における指摘に対して改善した点）
6. 今後の方向性（現状と課題を踏まえて）

### Ⅲ 事業シートに対しての評価員からの質問と各担当課からの回答

#### 公民館

◎重点事業 社会教育施設を使用した生涯学習の推進

【実施事業 公民館活動事業】

☆質問事項①

堅下分館で行われているスマートフォン講座について、他の分館でも開催したらいかがでしょうか。

★回答①

堅下分館で開催したスマートフォン講座を公民館本館、国分分館でも開催することにつ

いて、今後検討いたします。さらにこの講座に関心を持っていただけるよう、今後、講座内容の充実に努めてまいりたいと考えております。

☆質問事項②

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られております。現状と見通しを教えてください。

★回答②

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館しておりましたが、5月21日から感染拡大防止に必要な対策を講じた上で再開しております。

☆質問事項③

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

★回答③

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、長期にわたり休館したことにより、公民館講座の多くが中止となりました。感染拡大防止に必要な対策を講じた上で開催した講座もございます。今後、開催を予定している講座につきましても、感染防止に努めたいと考えております。

## 図書館

☆質問事項①

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られております。現状と見通しを教えてください。

★回答①

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館しておりました。5月21日より感染拡大予防のための対策を行い、段階的にサービスを再開しております。

☆質問事項②

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

★回答②

コロナ禍の中、再開後の利用人数、貸出冊数が減少しています。来館して、直接図書を選びたいが、感染するかもしれない等の理由で足が遠のいている利用者がおられます。安心して清潔な図書を提供するため、図書の滅菌装置を導入する予定です。

## 文化財課

◎重点事業 文化財に関する知識普及と啓発の推進

【実施事業 発掘調査事業、市内史跡等維持管理事業】

☆質問事項①

歴史資料館入館者数が平成30年度より20%減少した理由は何でしょうか。

★回答①

まず、秋季企画展「大和川つけかえ」において小学生の来館が前年度から2,000人減少しました。児童数の減少、他施設との調整課題、大型バス駐車場の利用不可による敬遠がその要因と考えております。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館も原因の一つとなっております。

☆質問事項②

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られております。現状と見通しを教えてください。

★回答②

大阪府の新型コロナウイルス感染症防止ガイドラインを遵守しております。講演会や公開事業においては参加人数を制限する等、対策を講じております。

☆質問事項③

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

★回答③

地域に対する関心や愛着を高めることを課題とし、展示、普及啓発事業の充実を図ります。今般の「亀の瀬 龍田古道」並びに「葛城修験」の日本遺産認定もその契機として課題に取り組みます。

## 健康福祉部

◎重点事業 幼稚園教育の推進

【実施事業 幼稚園施設の修繕】

☆質問事項①

施設老朽化による修繕は、大きな課題であると思います。今後、かしわら認定こども園の他に、認定こども園を新築する計画はありますか。

★回答①

「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画」及びその具体的な再編整備内容を定めた「公立幼稚園及び公立保育所再編整備実施計画」におきまして、市内の公立幼稚園、公立保育所の再編整備を計画しておりますが、建設中の「かしわら認定こども園」を除く他の地区では、既存の保育所を認定こども園とする予定であり、現時点で新築の計画はございません。

☆質問事項②

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られております。現状と見通しを教えてください。

★回答②

各幼稚園では、小中学校に準じた感染予防対策を実施しています。国の補助金を活用し、感染予防対策備品の購入を進めており、今後も引き続き感染予防対策を徹底してまいります。また、市内の就学前施設職員の合同研修を行い、感染症対策を学ぶとともに、各園の感染防止対策について情報交換を行い、各職場への工夫につながるよう取り組みました。

☆質問事項③

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

★回答③

柏原、国分、玉手の3地区で認定こども園の開園が予定されております。幼稚園と保育所の相違点を統合し、同一の施設として運営していくための整理が重点課題であることから、認定こども園準備会議を開催し、様々な事項の調整を進めております。

**社会教育課**

◎重点事業 こどもの交流、連携

【実施事業 青少年健全育成活動事業】

☆質問事項①

新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、開催時期、内容、規模、参加人数等の見直しの他に中止も視野に含めてもよいのではないのでしょうか。

★回答①

市主催の事業の実施については、基本的に延期もしくは中止としております。感染防止が確保されたと判断し、事業を実施する場合におきましては、各実施場所で細心の注意を払いながら事業の実施に努めているところです。

☆質問事項②

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られております。現状と見通しを教えてください。

★回答②

主催の事業実施についての対策として、早期に市内の感染状況を確認、掌握し、その状況に基づいて実施の可否判断を行い、速やかに市民に対して周知を行っております。生涯学習・文化施設である柏原市民文化会館（リビエールホール）、自然体験学習施設（スマイルランド）、柏原市青少年センター（堅下合同会館）の各施設を所管しており、それぞれにおいて貸館業務を行っております。各施設の入口に大阪コロナ追跡システムの登録のためのQRコードを導入し、感染拡大防止の一助とするとともに、来館者に対して検温や手指消毒の徹底をお願いし、国の接触確認アプリ「COCOA」の導入を可能な限りお願いしております。各施設及び来館者に対して感染拡大の防止に細心の注意を払いながら対応しているところです。

☆質問事項③

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

★回答③

柏原市教育振興基本計画の実現に向けた取組みにおいて、地域と学校の関係強化することが、子ども達を取り巻く教育環境の改善に繋がるものとして、その関係性に重点を置き、両者の連携・協働について検討しているところです。また、今後、学校においても地域活動や地域との共生がより重要になると考えているところから、指導課とともにコミュニティスクールの設置に向けた取組みを進めているところです。



## スポーツ推進課

### ☆質問事項①

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られています。現状と見通しを教えてください。

### ★回答①

緊急事態宣言下では、全ての事業は中止しておりましたが、宣言解除後は、体育館、庭球場、グラウンド、学校体育施設開放事業については、新型コロナウイルス感染予防策を講じた上で利用を再開しました。今後は感染状況を見ながら、感染予防策や大阪コロナ追跡システムの導入等により、実施が可能な事業については、実施してまいりたいと考えております。

### ☆質問事項②

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

### ★回答②

平成29年10月の台風21号により、青谷運動場が使用不能となった後、市民が野球を行えるスポーツ環境を提供するため、新たに堅下北スポーツ広場を建設し、平成31年4月から同広場を開設してグラウンドの供給を行っております。また、大阪府立柏原東高等学校のグラウンドは、高校が使わない休祝日に限り大阪府から借用し、市民に供しておりました。市民が野球を行えるスポーツ環境を提供するため、現在、柏原東高等学校の廃校後の継続使用を大阪府に強く要望しておるところです。また、使用不能となっております青谷運動場の再開に向けて、検討を進めております。

## 学務課

### ☆質問事項①

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られています。現状と見通しを教えてください。

### ★回答①

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校現場ではこれまで以上に衛生面からの安全確保に努めてきました。検温、消毒、給食の提供方法など、従来とは異なる対応が必要な場合は、関係部局と連携をとり、説明会を行ったり、マニュアルを配布したりしてきました。教員への過重な負担が課題となっております。

### ☆質問事項②

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

### ★回答②

平成28年に適正規模適正配置の基本方針が示されてから初めて令和2年3月31日に国分東小学校と国分小学校を統廃合しました。統廃合を進めていくためには、保護者や地域の不安に寄り添いながら、よりよい教育環境を整える準備期間と説明が必要です。今回の統廃合の検証をふまえて、令和3年度に検討委員会を立ち上げて基本方針を再度見直し、今後の方針を決定してまいります。

## 指導課

◎重点事業 各学校を支えるプロジェクトチーム

【実施事業 学力向上推進事業】

☆質問事項①

英検対策の学習会に関して、「参加人数の面では課題が残った」とありますが、参加人数は何人でしたか。また、生徒の何%ぐらいの参加が望ましいと思いますか。

★回答①

令和元年度は、13名の参加がありました。各中学校からのアンケート結果や会場のキャパシティの関係から、中学3年生の10%（50名程度）の参加をめざしております。

☆質問事項②

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られています。現状と見通しを教えてください。

★回答②

令和2年3月～6月にかけての臨時休業においては、市のICT整備状況が、学校と児童生徒及び家庭とをつなぐには十分ではありませんでした。今後は、国のGIGAスクール構想を受け、前倒しされる児童生徒への一人一台ICT端末導入を踏まえ、その活用について検討し、準備と実践を重ねていく予定です。

☆質問事項③

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

★回答③

本市の学力課題であります「書く力」の向上に取り組み、これまで一定の成果をあげてきましたが、それを下支えし、書かれている内容を正しく「読み取る力」の育成を今後、より進めていく必要があると感じております。児童生徒の読書活動の充実はもとより、図書館の環境整備を含めた運営や、教員との協働による授業づくり支援をねらいとし、児童生徒の読書習慣の定着と、読解力を含めた学力の向上に努めてまいります。

## 教育総務課

◎重点事業 安全、安心な施設環境の構築

【実施事業 小学校施設管理事業他】

☆質問事項①

災害の復旧や新型コロナウイルス感染症対策で、予算においても大変であると思いますが、コンピュータを使用したオンライン授業に必要な備品に関する予算の予定はありますか。

★回答①

国の方針に基づき、令和2年度中に児童生徒一人一台端末の整備並びにオンライン学習に必要な環境の整備をしてまいります。財源には、国の補助金、交付金を充当する予定となっております。

#### ☆質問事項②

新型コロナウイルス感染症拡大以降、これまでの取組みの根本的な見直しが迫られております。現状と見通しを教えてください。

#### ★回答②

国のGIGAスクール構想に基づき、4カ年計画で児童生徒一人一台端末などの整備を計画し、事業を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、国が令和2年度中に整備を行う方針に転換し、令和3年2月に機器導入、3月より使用開始という計画になりました。さらに、小学校6年生及び中学校3年生を先行しての導入という国の説明もあり、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、小学校6年生、中学校3年生及び教職員の端末などを先行して購入、その他の学年についてはリースで整備するための準備をしております。

#### ☆質問事項③

柏原市教育振興基本計画の重点事業の実現に向けて、重点的に取り組むべき課題は何で、どのように取り組まれているか教えてください。

#### ★回答③

体育館や特別教室への空調設備の設置やトイレ環境の改善、その他学校施設の環境改善、老朽化対策が重要と考えております。ただし、児童生徒数の動向などの条件により、優先順位をつけての整備が必要と考えており、令和2年度で実施しております長寿命化計画の策定並びに令和3年度に予定されております柏原市立学校の適正規模・適正配置基本方針を基に整備計画を策定してまいりたいと考えております。

以上の質疑応答を踏まえ、ヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は次のとおりである。

#### IV 個別ヒアリングの状況について

第1回柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議において、個別に質疑応答形式によるヒアリングを実施した。ヒアリング内容は以下のとおりである。

[評価員の意見の各課の回答など]

#### <公民館>

##### 【質問】

令和元年度の受講者数695人に対して、実際は平成30年度の受講者数が350人程度です。目標値が450人とのことですが、その根拠は何でしょうか。

##### 【回答】

講座の定員は、その部屋にどれだけ受講者が入ることができて、講座が成り立つのか、また、1講座に10人以下の申込みであると、講師と相談いたしまして、7、8人でも開講したりしております。また、過去の申し込み率も勘案し、現実的な数字で算出しております。

##### 【要望】

・ 終活とスマートフォン講座ですが、どんな内容だったのか、興味があったもので、ぜひとも私も受けたかったんですけど、時間帯が気になります。お仕事されている方は、休暇をとって行かないといけないのが、残念に思います。

**【質問】**

貸館有料化された収入はどのように使われますか。

**【回答】**

貸館有料化に伴う収入は、公民館の施設管理費の一部に充当しております。

**<図書館>**

**【質問】**

図書館の取組みは、高く評価しております。新しいものを作り出したいという方向で努力されているのが、よく伝わってきております。応援したいなという気持ちでおります。若い人達が、図書館に関わるようにと、コーナーを設けてらっしゃるということなんですが、詳しくお聞かせください。

**【回答】**

たとえば、4月からの試みですが、まんがであったものが小説化されたものを、積極的にアピールをして、新書と同じところに、来館者の方が見えやすいところに配架しております。なるべく若い方に、手にとっていただけるような努力をしております。

**【質問】**

フェイスブックやSNS等を通じても発信しておられますが、その状況を教えてください。

**【回答】**

ツイッターにより、本日はこんな事業がありますとか、読み聞かせがあります等と、そういう形でお知らせしております。来館者には、お母さんが子ども連れでという方も多いので、より、目にとまるような形を工夫しております。

**【質問】**

広報活動による広がりの効果は、どのような感じでしょうか。

**【回答】**

私立を含めて市内の幼稚園、保育所、認定こども園において、図書館で事業がある際に事前に、掲示していただいて、たとえば読み聞かせですが、ボランティアと図書館と協同で行っている事業は、児童の参加が増えております。また、それに伴い、来館者も増えており、今後、継続してやっていこうと考えております。また、近隣の幼稚園等の児童が、

帰宅する時間に合わせて、読み聞かせの事業を午後2時からにする試みも、広報誌にも掲載させていただきました。

**【質問】**

児童の調べ本（社会・理科等）を5年間で入れ替えていくよう、予算の確保に努めていらっしゃることに嬉しく思います。蔵書検索とか予約サービスとか、スマートフォンで、いろいろなものが見られて、自分の借りた本の記録までできるのは、非常に素晴らしいことですが、このようなことは、近隣の他の図書館でも行っているのでしょうか。

**【回答】**

これまで、パソコンの画面からしか見られなかった過去の借りた本の記録がスマートフォンから見られるようになりました。また、本の予約もできるようになっております。近隣の他の図書館でも同様のシステムを導入されていると思います。

**【質問】**

価格の優先順位とは、何ですか。

**【回答】**

柏原図書館と国分図書館で、だいたい24万冊の本があります。900万円の予算の中で、1館あたり450万円分しか蔵書を刷新する予算がありません。これを他の市町村の図書館から見ると、少ない。ベストセラーや図書館司書からの意見、市民からもこういう本を入れてほしいという中で、選別して、哲学、文学などいろいろな分類の本を予算を見ながら入れております。児童の調べ本につきましては、だいたい複数冊になっておまして、優先順位をつけたなかで、なかなか、そこまで手が回らない状態です。ただ、そういう調べ本が古いということは、学習するには、問題があるのではないかと、昨年の図書館協議会でもご意見をいただいております。国立図書館とかになると、15%とか20%くらいは、本を入れ替えているということなのですが、本市の図書館は、4%強にとどまっているので、本をもっと購入できる魅力ある図書館になるように、そこは、財政部局とも予算を考えていきたいと思っております。

**【質問】**

はっきりいえば、予算の都合でということですね。ボランティアとの協働事業で、市民の参加が少ないことが課題とありますがその原因はどう考えておられますか。

**【回答】**

学校司書と図書館ボランティアにお話し会をしてもらっています。もちろん、天候が原因の場合もあるのですが、少ない時は、2人くらいの時もありまして、もっと集客するため、市内の幼稚園と私立を含めての保育所、認定こども園にチラシを掲示してもらうことにより、若干増加しております。

**【要望】**

兵庫図書館では、夏休みに図書館の閉館後、お化け屋敷をやったり、町で子ども達の遊び場があったら、出て行って、青空図書館をやったりしています。柏原市の図書館にも、

もっと可能性があると思います。ぜひ、頑張ってください。

## <文化財課>

### 【質問】

古市古墳群の見学者を呼び込むため、柏原市として、玉手山公園のルートというのは、もう完成していて、それをどうアピールするかということでしょうか。

### 【回答】

はい、そうです。柏原市へ誘致するようなルートとして、現在、柏原市で取り組んでおりますのは、道明寺駅から歩いて玉手山公園へ行き、展望台から古市古墳群が一望できますので、このルートは、ぜひ、柏原市として薦めていきたいと考えております。藤井寺市、羽曳野市とも交流がありますので、このルートの推薦をお願いしております。

### 【質問】

小学校からたくさん来館されているということですが、働きかけはどのようにしているのですか。

### 【回答】

東大阪市、八尾市は、各市内全学校に教育委員会を通じて、チラシを送らせていただいております。ある先生が引率で一度来館されて、他の学校に移られて、また新しい学校で引率で連れてきてくださるとか、学年順送りで見学されることが多いのですが、昨年行ってみてよかったから、また今年も行ってみようかとか、少しずつ広まってきているのではないかと推測しております。

### 【質問】

ぜひ、多くの子ども達に来ていただいて、多くの学校に見ていただけたらと思います。キャパとしては、まだまだいけるんですか。

### 【回答】

多い時には、1日に10校くらい来館されます。研修室の床に座ってもらって、150人くらいがいっぱいなんですけど、多い時で一日5回くらい入れ替えます。展示室に50人、100人とか入っても見学になりませんので、研修室で大きな写真パネルとかにしまして、展示のここを見てもらったら、こういうことがわかりますよと説明します。このような内容を4、5回説明しておりますので、説明する側も大変なのですが、もう少しは受入れが大丈夫だと思います。8月1日から電話で受け付けさせていただくのですが、2時間くらいは、2台の電話がずっと鳴りっぱなしです。大和川の学習のことなら、柏原市に行こうということが、定着しております。

### 【質問】

可能であれば、学校の先生に宛てて、こういう展示があると、こんな学習ができますよ、とアピールして呼び込むことが可能なのかなと思います。

**【回答】**

今年は、学校の先生向けの講座を開催します。こういう風に授業として進めていただくとか、資料館を利用していただく方法がある等と説明をした後、実際に歩いて、見所、ポイントを先生方にお示しするという講座を考えております。これまでも、依頼されてやることありましたが、今回は初めて自主的にやろうということで、その案内を下見や申し込みに来られた学校にはお配りしております。どれくらい人が集まるかわかりませんが、そういうことも計画しております。

**【質問】**

道明寺、玉手山、龍田古道について、海外からの観光客の方もこちらに呼び込むことには、どう考えておられますか。

**【回答】**

市の観光部門は、産業振興課が担当しているのですが、数年前までは、それぞれで働きかけをしておりました。ただ、現在では、龍田古道の件でも一緒にやっておりますし、そういう意味では、横の連絡、企画部門もあわせて密になってきていると考えております。

**【要望】**

玉手山古墳群の活性化においても、横のつながりは重要です。通路の整備であるとかも含めて一層の連携を望みます。

**<社会教育課>**

**【質問】**

各種社会教育団体でたくさん事業があるわりには、評価シートの記述は、昨年とほぼ同じ内容で、どんな風に取り組まれているのかと気になりました。事業内容の検証を行って、たとえば、社会教育団体補助金の交付について改善したということですが、具体的に説明をお願いします。

**【回答】**

事業内容について、検証いたしまして実施計画というものを出し、予算化し事業を進めているところでございます。内容につきましては、市民からの要望、担当者の考えも含めて、効果があるか、公費を使って進めていくことができるかどうかというところで判断させていただいております。まず一点、社会教育団体補助金という部分では、補助金を交付させていただいている団体の見直しをさせていただきました。

青少年指導員、PTA協議会、こども会、青年会協議会、リーダー指導者会、健全育成会という6つの団体の補助金を交付しておりますが、設立の目的、趣旨を確認しながら、補助金を出して運営していただける団体かどうかをあらためて、各種の活動、総会など中身をしっかり検証させていただいて、補助金を交付できる団体を明確に位置付ける意味での要綱を作成しました。

**【質問】**

行政の仕事として前例踏襲するだけでなく、仕事の目的を確認しつつP D C Aを回していけないといけないと思いますが、そのような取組みがうまく示されていないように思えます。どのような目標をお持ちですか。

**【回答】**

基本的には、社会教育団体は、必要であると考えております。団体の協力なく、社会教育というものには成立しないものと考えておりますので、そうした意味では、市民の方、ボランティアの方の力もプラスしながら、進めていきたいと考えております。

今後の活用やあり方を検証したというのが、大きなポイントであって、今後とも引き続き、継承していきたい。

**【要望】**

社会教育というのは、ものすごく大事だと思う。特に日本の場合は、ヨーロッパに比べると、社会教育の力が弱くて、学校教育に偏りすぎている。もっともっと地域や家庭や既存の団体のケアだけに終わらず、もっと社会教育全体が、活性化するように、ぜひ、頑張ってくださいと思います。

**【質問】**

企業プログラムについての受付は、社会教育がなさっているんですね。このことを「のびのびルーム」の方々とかはご存じで、スムーズな流れになっているのですか。企業プログラムというのは、どの程度、活用されているのか説明してください。

**【回答】**

昨年度くらいから、企業プログラムが、大阪府の会議などでも出てまいりまして、各学校、健全育成会とか、放課後こども教室とかに活用していただければと、年2回の総合会議や連合の総会でご紹介させていただき、委託料をお渡しする際にもこういった活用について積極的なアプローチをとお紹介させていただいております。

受付は市でしており、「のびのびルーム」のご担当者様、役員などで決めていただいて、社会教育の方で、日程調整をしています。

昨年度初めて実施しまして、動物愛護管理センターの主催であります動物なかよし教室を国分東小学校で、1回実施をさせていただきました。

こどもミュージアムプロジェクト運営事務局から、指導者、役員向けのプログラムとして活用したいと申し出がありましたので、ご紹介させていただきました。

ダイドードリンコからペーパークラフトのものがありますと、玉手小学校で秋に今後行う予定です。

今まで同じような内容が続いているので、新しいことも取り入れていきたいという声が各役員からもありました。

**【質問】**

この流れでスムーズにいくのかなと思います。段取りが難しそうに思います。プログラムまでの活用の流れ、約束事がありますが、会社で働いているお母さん、お父さんが各「の



びのびルーム」でやる時、難しそうに思います。よほど、社会教育課がリードしてあげないといけないように思います。ある程度やって、ルールができれば、みんなも使うでしょう。そこへ行くまでは、社会教育課が苦勞していただかないといけないと思って、昨年からのいろいろ聞かせてもらってきました。今、こうして企業プログラムの活用が増えてきているのでいいのですが。実施した結果、皆さんの反応はどうでしたか。

**【回答】**

昨年度の国分東小学校は、たとえばうさぎを連れてきたり、家で飼えないことがあり、触れることがだんだん減ってきていたので、スタッフが安全に対する注意をはかりながら、校長先生、教頭先生も来られました。よかったということで、今年も申込がありましたし、また、周知もはかかっていかないといけないということで、私どもで仲介させてもらって、それができ次第、直接と考えております。

**【要望】**

大阪府へのプログラム申込は、各団体が直接電話できないことになっています。のびのびルームであろうが、その人の苦勞を取り除いていかなければ、なくなってしまうと思います。そこを支えていただき、いろんな団体に対しての支援をしていただくうちの一つがこれなのかなと思います。今後、楽しみにしていきたいと思っております。

**【質問】**

青少年の講座については、どのような宣伝方法がありますか。

**【回答】**

広報、フェイスブックなどに掲載していき、参加率が上がってきていると感じております。

**<こども政策課・こども育成課>**

**【質問】**

就学前カリキュラムについて、民間も含めた共通のカリキュラム研究があるとのことですが、どれくらいの規模、回数で予定されているのですか。

**【回答】**

市立の保育所、民間の保育園、小規模の保育園他、柏原市のくぐりの中にある全園から、一人ずつ代表者に出していただきまして、年間8回、大阪総合保育大学の先生をお招きいたしまして、実施しております。

**【質問】**

全員で何人くらい集まるのですか。

**【回答】**

全員で24人です。

**【質問】**

カリキュラム管理は、小規模に対しては、内容的にどうでしょうか。

**【回答】**

規模の小さい園も特に問題なく参加していただいております。

**【質問】**

私立の幼稚園との連携は、一度にカリキュラムを作るというのは、難しくスムーズに進まないのではという懸念があります。現在は、公立と私立の幼稚園は、うまくいっていますか。

**【回答】**

柏原教育・保育カリキュラムは、幼稚園教育要領や保育所指針に則って、基本はその部分を柏原市に置き換えておりますので、民間園であろうと、公立であろうと、そこは、順守しなければならない部分でございます。各園、自分のところの教育課程を特色をもって組み立ててきますが、日本全国共通のものは、順守していかなければならないという雰囲気になってきておりますので、抵抗がないように感じます。そういう研究会があるのなら、ぜひ、うちも参加させてということで、まとまっております。

## **<スポーツ推進課>**

**【質問】**

アウトドアスポーツの普及ということで、高知県は、代表的なメッカみたいなところがありますけれども、柏原市はどんなイメージでされていますか。

**【回答】**

まだまだ取組みを始めたところなんで、足摺岬とかそうしたところと比べものにならないのですが、大阪市内に近い割には、自然があります。産業振興課とも近年、アウトドアを開拓していこうかなと、それで、親しみを持っていただければと考えております。

**【質問】**

産業振興課からもいろいろ聞かせてもらっています。山も川もありますし、サイクルスポーツのメッカとして、ぜひ、頑張ってくださいたいです。堅下北スポーツ広場の周知なんですけど、ほぼ、予約が埋まってきているということなんですけど。

**【回答】**

どうしても社会人の方が中心となりますので、平日は、予約は空いております。これは、どうしてもそうなるんですけど、休日と土日祝日が埋まるか埋まらないかというところがポイントなんです。ひと月前から予約できるのですが、予約初日の朝は、スポーツ推進

課のカウンターで申込みの方が何人か並ばれて、場合によっては、抽選をして、最終的には、土日祝日は、ほぼ埋まっております。

**【質問】**

これからもそういう方向でされますか。

**【回答】**

もう少し、明るい時間帯は、時間を延長していこうかと考えております。

**【質問】**

時間延長ということで、照明をつけるのかなと思ったのですが。

**【回答】**

今午後5時までののですが、冬場になりますと5時でも暗いです。恩智川の遊水地の上にグラウンドを整備しているのに、ナイター設備を作れないという問題もあります。春夏の間、9時から5時まで開場時間をせめて6時までできれば、あそこは、シルバー人材センターの方を1名置いて管理しているので、人件費もかかるのですが。小学校の高学年のお子さんでも、今では学校終わってすぐ来ても5時で終わってしまうということがあるので、1時間でも長ければ、多目的広場の方も利用しやすいかなと思っております。

**【質問】**

指定管理者制度の活用は考えておられますか。

**【回答】**

最初から指定管理者制度を入れる施設かなと思うんですが、利用実績がないと、民間に指定管理者として募集した時に、どれくらいの収入、利用があるかということが、お示しできないので、最初は直営でやらせていただいて、年間これだけの利用があると分かった時点で、いずれ指定管理者制度に替えていくことになると思います。

**【質問】**

スポーツ環境の充実の成果指標について、市内スポーツ広場整備に伴う年度内業務が100%となっていますが、何を意味していますか。

**【回答】**

昨年は、堅下北スポーツ広場を整備して、それで100%であるということを目標にしておりました。今年は、新しい設備を新たに用意していくという部分で備品であったり、細かいところが不十分なところがあるので、そういった考え方で設定いたしました。

**【質問】**

市民の方に公開された時に、何のことなのかわかるように、数値で示すのは非常に難しいと思うんですが、達成度が求められるのであれば、人数でもいいと思いますし、わかりやすい数字で示すように考えてください。

**【回答】**

別の成果指標を検討します。

**<学務課>**

**【質問】**

中学生が考えた給食メニューは、どんな風に募集するのですか。

**【回答】**

学校によって、取組み方は違います。家庭科の夏休みの宿題で考えてきてくださいというのもありますし、家庭科の授業で、食事のバランスを考えるという中で、たとえば、給食だったらどんなメニューが考えられるかというのがあります。

**【質問】**

地場産物使用実績も表示があるのですか。生産者の顔が見える、誰が作っているとか物語に興味を持ったり、いいことですね。

**【回答】**

給食献立カレンダーやお昼に校内放送でも知らせております。

**【質問】**

アレルギー対応のマニュアルで、項目内容はどうでしょうか。

**【回答】**

柏原市と藤井寺市でアレルギーの把握の仕方が違い、なかなか難しい状況です。柏原市の方が細かく設定しているものがある一方で、藤井寺市の方が細かいものもありまして。統一するという点についても、意見が分かれているところです。

**【質問】**

教育委員会がリーダーシップを出さないといけないですね。

**【回答】**

難しいところです。いろいろな考え方があります。今回、給食センターが入ってくれたのですが、難しい雰囲気があります。各学校に配付しておりますフローチャートは、何かありました時に全職員が行動できるように、研究、作成いたしました。

**【要望】**

2市で一斉に作るよといったから難しいだろうと思いましたが、アレルギー対応を間違えると命にかかわることもありえます。2市で一斉に作るのであれば、両市で吟味してください。

**【質問】**

運動部指導員ですが、学校で採用しているところもあるようです。この方については、報酬が出ているということで、その報酬が部活動の活性化の成果指標の中学校クラブ活動補助金ですか。

**【回答】**

それは違います。クラブの活動そのものについての補助金です。

**【質問】**

指導員の募集を行いということだから、これを募集したら報酬は出ますよね。

**【回答】**

採用されたらということになります。

**【質問】**

運動部指導員の採用の流れについて説明してください。

**【回答】**

学務課でしているのは、人を募集して、部活動については、指導課が担当になっているので、指導課に紹介します。あとは指導課が学校とやりとりすることになります。

**【質問】**

週2回の青色防犯パトロールを各課と協力しながら、の「各課」というのは、教育委員会の中の課ということですか。

**【回答】**

そうではないです。市役所全部ではないですが、人数が多い課を中心にお願いしています。

**<指導課>**

**【質問】**

I C Tを活用して道徳と英語を改善するということではないのですね。

**【回答】**

道徳、英語だけではないです。

I C Tは、校務支援システム、慣れるまでには一定労力がかかるというご批判も出てきます。他市の例でも、一年目は批判だらけで、2年目以降は批判のようなことはなくなってくると聞いております。

**【質問】**

学校園教育推進事業補助金交付要綱が4月から新しくなったということですね。

**【回答】**

要綱について様式等を含めて見直しを行いました。

**【質問】**

部活動の教員のお仕事全般的に大変だなというところですが、そのあたりで取組みは何かありますか。

平日1日休養は、ほぼできているのですか。

**【回答】**

保護者の方からも様々な要望がありますが、ご理解いただけるような形で、調整して取り組んでおります。

原則として基本、平日1日は、休みをとっております。

子どもの体力、教員の働き方において、過重な長時間休みをとれないという国全体の動きを経て、実質練習時間、休日の扱いは、ホームページや各学校から保護者の皆さんに、周知させていただいております。

**【質問】**

全国学力・学習状況テストの結果は、市単位の公表はするが、学校単位ではしないのですね。成果指標の数字が入れにくいのですか。昨年と同じ数字を入れているのは、結果がまったく同じということですか。

**【回答】**

学校単位では公表しません。

成果指標については、目標としては同じで。平均値を越えることということでございます。

**<教育総務課>**

**【質問】**

小中一貫校ですが、もう一校作るのですね。

**【回答】**

適正規模・適正配置基本方針の中で、柏原中学校区に一つ、国分中学校区に一つの計画だったのですが、全小・中学校の耐震化がすべて完了し、空調設備につきましても、中学校の普通教室は平成30年度末までに、また小学校の普通教室にも令和元年度中に全校に設置されます。国庫補助金も受けておりますので、今後10年以上は現状の学校のままとなります。この計画がなくなるわけではありませんが、適正規模・適正配置基本方針見直しの中で再検討が必要となっている状況です。

**【質問】**

I C Tについてですが、指導者のパソコンは、パソコン教室だけですか。

**【回答】**

いいえ、教員用のものです。夏休み中に工事をしております。

**【質問】**

モデル校とは、指導課と連携してでしょうか。

**【回答】**

教育総務課は、物品の購入の担当となりますので、今年度はこういう機器を、来年度はこういう機器を入れ替えますというように、良いものを導入しても十分に活用できないといけませんので、企画や財政課とも協議のうえ、モデル校を入れて進めていきたいと考えております。最終的には、3クラスに1クラス分のタブレットを入れて、それを使って子ども達が学習できる環境を考えております。

**【質問】**

給食センターは、補修をしながら、いつかは耐震化に進むのかと思っておりますが。

**【回答】**

当組合の管理者は藤井寺市となりますが、本市といたしましても協力して耐震化の方法も含めて計画をしていかないとと思うのですが、給食を休止することはできず、工事の内容によっては雨水や鳥などの侵入も考えられるため、慎重に計画する必要があると考えております。

**【質問】**

堅下北中学校を除く全中学校の空調設備設置工事を行ったといいますのは、どういうことでしょうか。

**【回答】**

堅下北中学校は、受変電設備更新の都合上、一年先んじて設置工事をしております。

**【質問】**

市内の小中学校全部ですね。

**【回答】**

国分東小学校は、統合となるので、設置はありません。

## V 点検・評価に関する学識経験者からの意見・助言

### (1) 手取 義宏 氏 (大阪教育大学教授)

令和元年度の柏原市教育委員会の業務点検評価に携わらせていただいて感じたのは、何と言っても新型コロナウイルスの感染拡大によって大きく業務のあり方に変更を迫られた切迫感でした。学校においても社会においても、これまでとは異なるやり方で対応せざるをえなくなり、職員のみなさんが新しい情報を学びつつ知恵を絞って業務を遂行しようとしている姿勢が随所に見られて頭が下がる思いがしています。

図書館においては、来館ができなくなったときに予約本の無料宅配サービスを始められ、必要とされる場所へ自ら出向こうとされたことは高く評価されるべきです。また公民館や文化財課でもインターネットを活用した取り組みを検討されるなど、コロナ禍に対応する姿勢を示されていることには期待が持てます。このような状態がいつまで続くのか、そしてまたいつ繰り返されるのか予測がつかないなか、積極的に新しいあり方を模索されていることを頼もしく誇りに思います。

そして、昨年度の点検評価の際に要望申し上げたこの点検評価自体のあり方の改革にも取り組んでいただきました。具体的には、昨年度までの評価シートの形式が実質的で無理のない形に改善され、以前よりは取り組みやすくなったと思われまます。まだまだ改善の余地はありそうで、評価シートを記入する時期などを検討していただき、より意味のあるふりかえりが出来るようになればと考えています。

その中で特に意識したいのは、柏原市教育振興基本計画の実現にどの程度迫っているのかという評価軸です。現在でも各課のそれぞれの事業はこの基本計画・基本方針に関連付けられています。ただ、そのような形式的な側面だけでなく、この大きなビジョンの達成を真剣に目指すなら、現状においてどこまで実現できているか、あと何が必要かという展望を職員のみなさんと共有しながら業務のあり方をふりかえることが必要です。ぜひそのような評価軸をご検討いただけるよう要望いたします。

### (2) 松下 十三男 氏 (元柏原市立中学校教頭)

柏原市教育委員会の点検・評価に今年度から関わらせていただきまして、私どもの意見を各課とも熱心に受け止めていただいたこと、また今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に全力あげて取り組み、予定の変更や予防対策など大変な労力と不安の中、目標達成に向けて努力されていることに敬意を表したいと思います。

先日ヒアリングをさせていただきまして、各課事業の取組みが滞りなく進むよう運営されていることを理解いたしました。公民館は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、来館者の人数制限、フェイスシールド、人との間隔など工夫して貸館や行事を行っていることなど、市民に対する思いやりの深さを感じとることができました。図書館も感染症拡大防止を中心に考え、臨時窓口設置、書籍の消毒、予約本無料宅配サービス、4人掛けを2人掛けにするなどの対策の実施を聞き、柏原市の図書館を誇りに感じました。文化財課も感染症拡大防止を考え、大阪府や日本博物館協会からのガイドラインの遵守、咳エチケット、座席間隔を空ける、大声での会話を控える、感染アプリの推奨などを行い、その中で講演会実施や公開事業を進められていることに多大な努力を感じました。こども育成課とこども政策課は柏原、国分、玉手の3地区でスタートする「認定こども園」の準



備で週1回開催の「認定こども園準備会議」の実施、その中で教育時間・保育時間の設定、幼稚園と保育所の相違点の統合、教育保育カリキュラムの作成などの準備でご苦労されたことと存じます。社会教育課はコミュニティスクールの検討、健全育成会、こども110番、こども見守り活動、成人式の運営など、学校と地域の連携に尽力されていることがよく分かりました。スポーツ推進課はグラウンドの確保で大変な苦勞をされていることを知りました。学務課は各学校園においての新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けての取組み、安心・安全の確保、これまで以上の衛生面着目、検温・消毒、現場の声を大切にした取組み、専門家の意見、小中学校の「新型コロナウイルスの対応について」マニュアルの作成など、ありとあらゆる取組みの緻密さを感じました。指導課は学校教育の中でICT教育の推進、英検対策学習会の推進、読む力の育成、読書活動の推進など、子どもの学力向上に向けて努力されていることを感じました。教育総務課はICT教育を進めるため、全児童生徒へ1人1台の端末の整備にスピード感を持って望まれ、令和3年2月にICT教育機器が整うようになったことはとても素晴らしいことだと感じました。

全体を通して各課とも柏原の教育推進に向けて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を考えながら多くのことを進められたことに感謝しつつ柏原市教育のますますの発展を願っております。

## 点検・評価に関する学識経験者からの意見・助言

### (1) 手取 義宏 氏 (大阪教育大学教授)

令和元年度の柏原市教育委員会の業務点検評価に携わらせていただいて感じたのは、何と言っても新型コロナウイルスの感染拡大によって大きく業務のあり方に変更を迫られた切迫感でした。学校においても社会においても、これまでとは異なるやり方で対応せざるをえなくなり、職員のみなさんが新しい情報を学びつつ知恵を絞って業務を遂行しようとしている姿勢が随所に見られて頭が下がる思いがしています。

図書館においては、来館ができなくなったときに予約本の無料宅配サービスを始められ、必要とされる場所へ自ら出向こうとされたことは高く評価されるべきです。また公民館や文化財課でもインターネットを活用した取り組みを検討されるなど、コロナ禍に対応する姿勢を示されていることには期待が持てます。このような状態がいつまで続くのか、そしてまたいつ繰り返されるのか予測がつかないなか、積極的に新しいあり方を模索されていることを頼もしく誇りに思います。

そして、昨年度の点検評価の際に要望申し上げたこの点検評価自体のあり方の改革にも取り組んでいただきました。具体的には、昨年度までの評価シートの形式が実質的で無理のない形に改善され、以前よりは取り組みやすくなったと思われまます。まだまだ改善の余地はありそうで、評価シートを記入する時期などを検討していただき、より意味のあるふりかえりが出来るようになればと考えています。

その中で特に意識したいのは、柏原市教育振興基本計画の実現にどの程度迫っているのかという評価軸です。現在でも各課のそれぞれの事業はこの基本計画・基本方針に関連付けられています。ただ、そのような形式的な側面だけでなく、この大きなビジョンの達成を真剣に目指すなら、現状においてどこまで実現できているか、あと何が必要かという展望を職員のみなさんと共有しながら業務のあり方をふりかえることが必要です。ぜひそのような評価軸をご検討いただけるよう要望いたします。

### (2) 松下 十三男 氏 (元柏原市立中学校教頭)

柏原市教育委員会の点検・評価に今年度から関わらせていただきまして、私どもの意見を各課とも熱心に受け止めていただいたこと、また今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に全力あげて取り組み、予定の変更や予防対策など大変な労力と不安の中、目標達成に向けて努力されていることに敬意を表したいと思います。

先日ヒアリングをさせていただきまして、各課事業の取組みが滞りなく進むよう運営されていることを理解いたしました。公民館は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、来館者の人数制限、フェイスシールド、人との間隔など工夫して貸館や行事を行っていることなど、市民に対する思いやりの深さを感じとることができました。図書館も感染症拡大防止を中心に考え、臨時窓口設置、書籍の消毒、予約本無料宅配サービス、4人掛けを2人掛けにするなどの対策の実施を聞き、柏原市の図書館を誇りに感じました。文化財課も感染症拡大防止を考え、大阪府や日本博物館協会からのガイドラインの遵守、咳エチケット、座席間隔を空ける、大声での会話を控える、感染アプリの推奨などを行い、その中で講演会実施や公開事業を進められていることに多大な努力を感じました。こども育成課とこども政策課は柏原、国分、玉手の3地区でスタートする「認定こども園」の準

備で週1回開催の「認定こども園準備会議」の実施、その中で教育時間・保育時間の設定、幼稚園と保育所の相違点の統合、教育保育カリキュラムの作成などの準備でご苦勞されたことと存じます。社会教育課はコミュニティスクールの検討、健全育成会、こども110番、こども見守り活動、成人式の運営など、学校と地域の連携に尽力されていることがよく分かりました。スポーツ推進課はグラウンドの確保で大変な苦勞をされていることを知りました。学務課は各学校園においての新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けての取組み、安心・安全の確保、これまで以上の衛生面着目、検温・消毒、現場の声を大切にした取組み、専門家の意見、小中学校の「新型コロナウイルスの対応について」マニュアルの作成など、ありとあらゆる取組みの緻密さを感じました。指導課は学校教育の中でICT教育の推進、英検対策学習会の推進、読む力の育成、読書活動の推進など、子どもの学力向上に向けて努力されていることを感じました。教育総務課はICT教育を進めるため、全児童生徒へ1人1台の端末の整備にスピード感を持って望まれ、令和3年2月にICT教育機器が整うようになったことはとても素晴らしいことだと感じました。

全体を通して各課とも柏原の教育推進に向けて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を考えながら多くのことを進められたことに感謝しつつ柏原市教育のますますの発展を願っております。